



久保 貴洋 議員
(大樹会)



閉校となった学校跡地の活用について

Q 旧飛駒小学校を活用する事業者名と業務概要、その事業者が提案した内容について伺いたい。

A 総合政策部長

特定したのは、株式会社ピーアンドジーで、主に電子通信機器や日用雑貨品の物流販売事業を展開するほか、各種学校経営等を行う事業者です。提案内容については、校舎を日本語学校の実習室として外国人留学生のための教育研修施設に活用するほか、地域農産物等を販売する物産館、電子書籍図書館、子どもの交流スペース、地域住民の憩いの間などの設置としています。また、校庭に農業実習用ビニールハウスの設置や、プールを解体して物流配送センターを建設する計画があり、それに伴う雇用計画についても提案がありました。また、市指定避難所の継続使用に関する協力、非常食や非常用バッテリー電源、大型テントの備蓄といった地域防災への貢献、校庭や体育館を地域住民へ開放するなど地域貢献の内容となっています。

その他の質問

☆災害用ドローン整備事業について
☆佐野市消防団について



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



教職員の働き方改革について

Q 教職員の働き方について、依然として学校現場の長時間の過密労働というのは深刻な状態にあり、勤務時間短縮のため様々な努力をしていると思うが、現実はまだまだ厳しいと考える。そこで教職員の週平均の勤務時間について直近の状況を伺いたい。

A 教育長

教職員の週当たりの正規勤務時間は本来38時間45分であるのに対し、本市の令和4年度における週平均勤務時間は49時間8分となっています。また、令和3年度の週平均勤務時間は50時間4分ですので、比較しますと令和4年度は56分の減少となっています。また、教職員の仕事の持ち帰りの状況ですが、個人差がございます。学校では管理職が、持ち帰る教職員の状況を校務用パソコン等の持ち出し記録簿で確認するなど、業務負担の軽減に向けた助言、あるいは改善にも取り組んでいるところとあります。

その他の質問

☆GIGAスクールの現状について
☆5類移行後の新型コロナウイルス感染症対策について



長浜 成仁 議員
(政友みらい)



第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」について

Q 学校図書館への新聞配備について、本市の現状と今後の取り組みを伺いたい。

A 教育部長

学校図書館への新聞の配備については、国が行った令和2年度調査で全国平均で小学校1.6紙、中学校2.7紙となっています。本市においては、令和4年度の調査になりますが全国平均を下回り、小学校は0.6紙、中学校で1校の配備にとどまり、0.1紙となっています。国は、第6次計画において児童生徒が主体的に主権者として必要な資質、能力を身につけるため、発達段階に応じて学校図書館への新聞の複数配備を図ることとし、小学校で2紙以上、中学校で3紙以上を目標に定めています。

その他の質問

☆災害対策基本法の運用について
☆地域農業の現状と課題について

現在、新聞の配備は、図書と同様に各学校の判断に委ねていますが、学校図書館において新聞を活用した取り組みを研究するとともに、各校に新聞を新たに配備できるように働きかけたいと考えています。